

令和7年12月19日

## 【令和7年度補正予算】生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する負担割合（案）

## 1. 資本費

	人口（人）	按分率（％）	負担額（円）
逗子市	54,882	64.42%	11,054,265
葉山町	30,318	35.58%	6,105,414
合計	85,200	100.00%	17,159,679

※逗子市は、「逗子市の人口、世帯数（令和2年国勢調査結果確定値基準）」の当該年度10月1現在の人口を使用

※葉山町は、「人口と世帯（神奈川県人口統計調査）」の当該年度10月1現在の人口を使用

※今回は予算資料の参考値として、直近年度の同月である令和7年10月1日現在の人口を記載

## 2. 処理費

		年間コスト（円）	備考
クリーンセンター運営事業	光熱水費（電気料金）	6,600,003	全体の使用量のうち生ごみ資源化処理施設相当分を按分
	光熱水費（水道料金）	5,630,714	全体の使用量のうち生ごみ資源化処理施設相当分を按分
	光熱水費（下水道料金）	5,148,412	全体の使用量のうち生ごみ資源化処理施設相当分を按分
生ごみ資源化処理事業	消耗品費	8,232,237	薬剤、重機消耗品、フレコン等
	燃料費	1,072,512	軽油
	修繕料	940,000	オイルエレメント交換等
	手数料	342,188	生ごみ堆肥分析
	自動車損害保険料	13,940	重機自賠責保険料
	管理業務委託料	10,560,000	生ごみ資源化処理施設技術者派遣委託
	各種検査委託料	542,190	重機・チェーンロック自主検査、精密機能検査等
清掃総務費等	人件費	25,736,046	葉山町清掃作業員3人分
その他	重機購入費用	3,256,000	ローダー・リス年数5年割相当額 令和7～11年度
合計		68,074,242	

※令和7年4月～令和8年3月で運用した場合の試算

※内訳は現時点で工事請負業者から提出されたものと令和7年8月の実績に基づいたものであり、今後運用等で変動の可能性あり

※各光熱水費は、施設全体金額×（生ごみ資源化施設相当使用量×施設全体使用量）で計算

※重機は、ローダー、フォークリフトを指す

※ローダー購入額：16,280,000円

	搬入量（t）	単価（円/t）	負担額（円）
逗子市	1,699	21,290	36,171,710
葉山町	1,498		31,902,532
合計	3,197		68,074,242

参考：単価（円/kg）換算

21.29

※参考値として令和7年4月～令和8年3月で運用した場合のごみ量での試算

※参考値として搬入量は事務委託協議時の令和7年度推計を使用

※単価については、kg単価小数第2位未満切り捨て

## 3. 不適物等処理費（可燃ごみで相殺せず不適物処理として別途清算を想定）

	搬入量（t）	不適物混入率（％）	不適物量（t）
逗子市	1,699	8.11%	138
葉山町	1,498	8.13%	122
合計	3,197	-	260

※令和7年4月～令和8年3月で運用した場合の試算

※逗子市不適物混入率は、10月12日に逗子市から提示された資料による

※搬入量の推計は事務委託協議時に各市町から提示された資料による

		不適物量（t）	単価（円/t）	負担額（円）	負担額合計（円）
逗子市	焼却資本費処理費・負担金	138	34,720	4,791,360	5,801,589
	運搬費・負担金		7,321	1,010,229	
葉山町	焼却処理費	122	34,720	4,235,840	5,128,941
	運搬費		7,321	893,101	
合計		260	-	-	10,930,530

※令和7年4月～令和8年3月で運用した場合の試算

※焼却処理費：参考値として令和7年度逗子市焼却予算単価

※単価については、kg単価小数第2位未満切り捨て

参考：単価（円/kg）換算

※運搬費：参考値として令和7年度契約単価

42.04

## 【令和8年度当初予算】生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する負担割合（案）

## 1. 資本費

	人口（人）	按分率（％）	負担額（円）
逗子市	54,882	64.42%	11,054,265
葉山町	30,318	35.58%	6,105,414
合計	85,200	100.00%	17,159,679

※逗子市は、「逗子市の人口、世帯数（令和2年国勢調査結果確定値基準）」の当該年度10月1現在の人口を使用

※葉山町は、「人口と世帯（神奈川県人口統計調査）」の当該年度10月1現在の人口を使用

※今回は予算資料の参考値として、直近年度の同月である令和7年10月1日現在の人口を記載

## 2. 処理費

		年間コスト（円）	備考
クリーンセンター運営事業	光熱水費（電気料金）	6,600,003	全体の使用量のうち生ごみ資源化処理施設相当分を按分
	光熱水費（水道料金）	5,630,714	全体の使用量のうち生ごみ資源化処理施設相当分を按分
	光熱水費（下水道料金）	5,148,412	全体の使用量のうち生ごみ資源化処理施設相当分を按分
生ごみ資源化処理事業	消耗品費	8,232,237	薬剤、重機消耗品、フレコン等
	燃料費	1,072,512	軽油
	修繕料	940,000	オイルエレメント交換等
	手数料	342,188	生ごみ堆肥分析
	自動車損害保険料	13,940	重機自賠責保険料
	管理業務委託料	0	生ごみ資源化処理施設技術者派遣委託
	各種検査委託料	542,190	重機・チェーンロック自主検査、精密機能検査等
清掃総務費等	人件費	25,736,046	葉山町清掃作業員3人分
その他	重機購入費用	3,256,000	ローダー・リス年数5年割相当額 令和7～11年度
合計		57,514,242	

※令和7年4月～令和8年3月で運用した場合の試算

※内訳は現時点で工事請負業者から提出されたものと令和7年8月の実績に基づいたものであり、今後運用等で変動の可能性あり

※各光熱水費は、施設全体金額×（生ごみ資源化施設相当使用量×施設全体使用量）で計算

※重機は、ローダー、フォークリフトを指す

※ローダー購入額：16,280,000円

	搬入量（t）	単価（円/t）	負担額（円）
逗子市	1,687	18,120	30,568,440
葉山町	1,487		26,945,802
合計	3,174		57,514,242

参考：単価（円/kg）換算

18.12

※参考値として令和7年4月～令和8年3月で運用した場合のごみ量での試算

※参考値として搬入量は事務委託協議時の令和7年度推計を使用 ※単価については、kg単価小数第2位未満切り捨て

## 3. 不適物等処理費（可燃ごみで相殺せず不適物処理として別途清算を想定）

	搬入量（t）	不適物混入率（％）	不適物量（t）
逗子市	1,687	8.11%	137
葉山町	1,487	8.13%	121
合計	3,174	-	258

※令和7年4月～令和8年3月で運用した場合の試算

※逗子市不適物混入率は、10月12日に逗子市から提示された資料による

※搬入量の推計は事務委託協議時に各市町から提示された資料による

		不適物量（t）	単価（円/t）	負担額（円）	負担額合計（円）
逗子市	焼却資本費処理費・負担金	137	34,720	4,756,640	5,759,549
	運搬費・負担金		7,321	1,002,909	
葉山町	焼却処理費	121	34,720	4,201,120	5,086,901
	運搬費		7,321	885,781	
合計		258	-	-	10,846,449

※令和7年4月～令和8年3月で運用した場合の試算

※焼却処理費：参考値として令和7年度逗子市焼却予算単価 ※単価については、kg単価小数第2位未満切り捨て

※運搬費：参考値として令和7年度契約単価

参考：単価（円/kg）換算

42.04

令和7年12月19日

### 生ごみ資源化処理施設資本費計算内訳（まとめ）

A:施設整備費	507,965,700
B:特定財源差引後額	343,193,570
C : 20年割 (B÷20年)	17,159,679

### 令和7年度逗子市人口割（円） **11,054,265**

※「逗子市の人口、世帯数（令和2年国勢調査結果確定値基準）」ベース試算

※今回は予算資料の参考値として、直近年度である令和7年10月1日現在の逗子市人口54882人で試算

参考

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
逗子市人口（人）	57,072	56,651	56,147	55,726	55,326
逗子市人口割（円）	10,940,481	10,931,584	10,919,919	10,916,608	10,917,141
逗子市搬入量推計（t）	1,687	1,675	1,660	1,647	1,635
逗子市搬入量割（円）	9,120,472	9,121,695	9,106,479	9,135,811	9,125,603

※葉山町の生ごみ分別に関する制度設計ベース試算

## 令和6年度 生ごみ資源化処理施設資本費計算内訳

## 起債額（元金）

A：全体（円）	B：生ごみ相当額（円）	C：生ごみ相当割合（%） B/A
319,500,000	267,100,000	83.60%

※少数点第2未満切捨て

## 起債額（元金＋利子）

D：全体（円）	E：生ごみ相当額（円）	D×C
380,904,435	318,436,108	

## 資本費

F：施設整備費	E：起債額（生ごみ相当額）（円）	G：国交付金相当額（円）	H：県補助金（円）	I：一般財源（円）	F-E-G-H
479,936,600	318,436,108	141,287,000	19,913,780		299,712

資本費対象額(円) E+I	20年割（円）
318,735,820	15,936,791

令和7年12月19日

## 令和7年度 生ごみ資源化処理施設資本費計算内訳

## 起債額（元金）

A:全体（円）	B:生ごみ相当額（円）	C:生ごみ相当割合（%） B/A
—	—	—

※少数点第2未満切捨て

## 起債額（元金 + 利子）

D:全体（円）	E:生ごみ相当額（円） D×C
—	—

## 資本費

F:施設整備費	E:起債額（生ごみ相当額）（円）	G:国交付金相当額（円）	H:県補助金（円）	I:一般財源（円） F-E-G-H
28,029,100	—	0	3,571,350	24,457,750

資本費対象額(円) E+I	20年割（円）
24,457,750	1,222,888

※1 現時点では、起債額の補正予算措置及び申請を行っていないため、起債をした場合は利率等を考慮する必要があるものとする

※2 現時点では、県の自治基盤強化総合補助金についても確定しているものではないため、確定次第反映するものとする

※3 上記の補足事項については、基本的に逗子市可燃ごみ事務委託の予算単価検討時と同様の措置となる

令和7年7月15日

令和7年12月19日

## 生ごみ資源化に関連する事業費（1年間の運用）

## 生ごみ資源化に関連する事業費（8月実績ベースでの作成）

## 歳出

細々節	名称	予算	備考
クリーンセンター運営事業			
光熱水費	電気料金（高圧）	22,485,672	@1,873,806円×12ヶ月
	水道料金	7,723,956	@643,663円×12ヶ月
	下水道料金	6,376,704	@531,392円×12ヶ月
生ごみ資源化処分事業			
消耗品費	硫酸	1,476,090	@2,100円×639本×1.1
	苛性ソーダ	6,600,000	@150,000円×40本×1.1
	次亜塩素酸ソーダ	242,550	@3,500円×63本×1.1
	追加培地	0	工事請負業者の他事例より基本は無し
	リレーバッグ（製品堆肥詰替え袋）	682,000	@1,000円×620袋×1.1 ※1tの袋に500kg入る想定
	シャバラグリース（重機用）	16,280	@14,800円×1箱×1.1
	ホイールローダー用バケットエッジ	218,827	@198,934円×1組×1.1
	その他消耗品	200,000	
燃料費	軽油（ローダー・フォーク）	5,205,618	@180円×26,291ℓ×1.1
修繕料	ホイールローダーオイルエレメント等交換	440,000	@400,000円×1箱×1.1
	ホイールローダー一般修理	500,000	
手数料	生ごみ堆肥分析	342,188	@77,770円×4回×1.1
自動車損害保険料	ホイールローダー自賠責保険料	6,970	@6,970円×1回
	フォークリフト自賠責保険料	6,970	@6,970円×1回
業務委託料	生ごみ資源化処理施設技術者派遣委託	16,500,000	@15,000,000円×1式×1.1
各種検査委託料	電動チェーンブロック検査委託	330,000	@300,000円×1式×1.1
	ホイールローダー特定自主検査委託	47,190	@42,900円×1台×1.1
	フォークリフト自賠責保険料特定自主検査委託	165,000	@150,000円×1台×1.1
合計		69,566,015	

## 歳出

細々節	名称	予算	備考
クリーンセンター運営事業			
光熱水費	電気料金（高圧）	6,600,003	@670732円×82%×12ヶ月
	水道料金	5,630,714	@601572円×78%×12ヶ月
	下水道料金	5,148,412	@550044円×78%×12ヶ月
生ごみ資源化処分事業			
消耗品費	硫酸	2,740,650	@125円×1661kg×12ヶ月×1.1
	苛性ソーダ	3,978,480	@100円×3014kg×12ヶ月×1.1
	次亜塩素酸ソーダ	396,000	@150円×200kg×12ヶ月×1.1
	追加培地	0	工事請負業者の他事例より基本は無し
	リレーバッグ（製品堆肥詰替え袋）	682,000	@1,000円×620袋×1.1 ※1tの袋に500kg入る想定
	シャバラグリース（重機用）	16,280	@14,800円×1箱×1.1
	ホイールローダー用バケットエッジ	218,827	@198,934円×1組×1.1
	その他消耗品	200,000	
燃料費	軽油（ローダー・フォーク）	1,072,512	@168円×532ℓ×12ヶ月
修繕料	ホイールローダーオイルエレメント等交換	440,000	@400,000円×1箱×1.1
	ホイールローダー一般修理	500,000	
手数料	生ごみ堆肥分析	342,188	@77,770円×4回×1.1
自動車損害保険料	ホイールローダー自賠責保険料	6,970	@6,970円×1回
	フォークリフト自賠責保険料	6,970	@6,970円×1回
業務委託料	生ごみ資源化処理施設技術者派遣委託	10,560,000	@9,600,000円×1式×1.1
各種検査委託料	電動チェーンブロック検査委託	330,000	@300,000円×1式×1.1
	ホイールローダー特定自主検査委託	47,190	@42,900円×1台×1.1
	フォークリフト自賠責保険料特定自主検査委託	165,000	@150,000円×1台×1.1
合計		39,082,196	

## 歳出（歳出予算要求書によらないもの）

細々節	名称	予算	備考
清掃総務費等	人件費	19,698,941	総務課予算 葉山町清掃作業員2人分
その他	重機購入費	3,256,000	ローダー16,280,000円÷リース年数相当5年
合計		22,954,941	

## 歳出（歳出予算要求書によらないもの）

細々節	名称	予算	備考
清掃総務費等	人件費	25,736,046	総務課予算 葉山町清掃作業員3人分
その他	重機購入費	3,256,000	ローダー16,280,000円÷リース年数相当5年
合計		28,992,046	

光熱水費（電気料金）	全体の使用量のうち生ごみ相当の割合=87%（647.5Mwh/745.2Mwh）
光熱水費（水道料金）	全体の使用量のうち生ごみ相当の割合=85%（16396.6m <sup>3</sup> /19257.6m <sup>3</sup> ）
光熱水費（下水道料金）	全体の使用量のうち生ごみ相当の割合=85%（16396.6m <sup>3</sup> /19257.6m <sup>3</sup> ）

光熱水費は予算書に対し上記の率から7ヶ月分の生ごみ相当分を算出することが可能

上記算出後1ヶ月分のコストを割り返し12ヶ月分を乗じることで1年分のコストを算出することが可能

光熱水費（電気料金）	8月全体の使用量のうち生ごみ相当の割合=82%（24414.13kwh/29864kwh）
光熱水費（水道料金）	全体の使用量のうち生ごみ相当の割合=78%（1162.50m <sup>3</sup> /1485m <sup>3</sup> ）
光熱水費（下水道料金）	全体の使用量のうち生ごみ相当の割合=78%（1162.50m <sup>3</sup> /1485m <sup>3</sup> ）

## クリーンセンター生ごみ資源化処理施設の電気・水使用量

令和7年12月19日

## 【電気量】

単位：円

	8月分	9月分	10月分	平均
料金（円）	550,001	630,908	605,029	595,313
使用量（kWh）	24414.1333	28719	26096	26410

	12ヶ月分	備考
1年間の電気料金（円）	7,143,756	@595,313円×12ヶ月

## 【水道量】

	8月分	9月分	10月分	平均
水道料金（円）	469,227	405,251	444,416	439,631
下水道料金（円）	429,035	374,258	396,363	399,885
使用量（m <sup>3</sup> ）	1,163	1,016	1,071	1,083

	12ヶ月分	備考
1年間の水道料金（円）	5,275,572	@439,631円×12ヶ月
1年間の下水道料金（円）	4,798,620	@399,885円×12ヶ月